



医療法人寺尾会 寺尾病院 広報誌

# TERRA NEWS

Vol.22

2020.9発行



# ／ 新型コロナウイルス感染症対策 ／

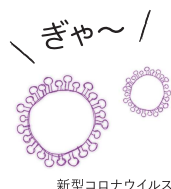
新型コロナウイルス感染症の第2波が拡大をつづけており、医療機関の皆様は対応に大変苦慮されていることと存じます。

当院では、患者様と職員を守るために以下の3点を柱として主な対策を行っています。

## 1 持ち込まない

### 職員の健康チェック

毎朝、出勤時は個人票による健康チェックを行っています。  
ご来院される方には、マスクを準備していただきマスクの着用をお願いしています。



### 玄関での体温測定・問診によるトリアージ

正面玄関で検温と簡易問診を行い、発熱者や症状がある方は、さらに発熱者用問診表を記載して頂きます。  
新型コロナウイルス感染の可能性が少しでも疑われる場合は、発熱者専用スペースや別施設での診療を実施しています。また、他の患者様との接触がないように専用のスペースや車での待機をお願いしております。



### 面会禁止

新型コロナウイルス感染症の発生状況により、面会制限・面会禁止を行っております。  
現在、面会禁止のため、8月18日よりタブレット使用による予約制面会を開始いたしました。

### 受付での対策

対面で接触する可能性が多いため、アクリル板を設置し飛沫による感染予防を行っております。

## 2 持ち出さない

### 職員による清掃・消毒

接触頻度の高い場所(ドアノブ、手すり、待合室椅子)については職員による定期的清掃消毒を行っております。

### 待合室では3密を避ける

待合席に1席ずつ間隔をあけて座って頂く案内を貼り、3密にならないよう患者様にお願いをしております。

## 3 情報共有

県外への不要不急の外出とともに、お盆の帰省や迎え入れなどはアンケート調査を行い、現状を把握して出勤停止等の対応を行いました。

また、職員同居者における感染状況の情報を共有できるように職員へ「上司への報告」の徹底を行っています。

あなたは何問解ける？

# 感染対策クイズ

当院では感染対策として定期的に研修を行っています。今期の研修はコロナ感染予防のため、密になる例年通りのグループ研修ではなく、“クイズで学ぶ院内感染対策”を実施いたしました。全35問！そのうち、不正解が多かった10問をピックアップしました。みなさんもぜひチャレンジしてみてください

- 1.防カビ対策として乾燥が重要であるが、水分が15%以下でカビの活動は休止する。
- 2.流水での適切な手洗いを行うためにWHOで推奨されている時間は20～30秒である
- 3.サージカルマスクの適性着用は、飛沫感染予防として他者への飛沫放散防止とウイルスの空気感染を押さえる効果がある。
- 4.N95マスクは5μm以下の飛沫核に付着する病原体(細菌やウイルス)を95%以上捕集する規格を持つ高性能マスクであり、空気飛沫感染予防対策を必要とする現場に入室する医療従事者や患者本人は着用の必要性が高い
- 5.手指衛生の“5つのタイミング”とは、「患者に触れる前」「清潔/無菌操作の後」「体液に曝露された可能性のある場合」「患者に触れた後」「患者周辺の環境や物品に触れた後」
- 6.血液・体液が付着していないディスポ注射器は非感染性医療可燃物である。
- 7.擦式アルコールを用いた手指衛生を行うためにWHOで推奨されている時間は20～30秒である。
- 8.針刺し事故では、HBs抗原陽性の者では30%、HCV抗体陽性の患者は3%、HIV抗体陽性の患者では0.3%程度で感染が成立する。
- 9.目視できる汚れがなければ流水による手洗いのかわりに擦式アルコール消毒を用いても良い。  
[一部のウイルス(ノロウイルス)や芽胞菌での曝露疑いを除く]
- 10.全ての患者の血液・体液・汗を除く分泌物・排泄物・傷のある皮膚・粘膜は感染症がある対象として定義されている。

答えは寺尾レポートにあります

## 部署紹介 回復期リハビリテーション病棟 認定看護師

師長 橋塚 恵



回復期リハビリテーション病棟は、患者さまのADL(日常生活動作)能力を向上させ、寝たきり防止や在宅復帰を実現することを目的としています。

回復期リハビリテーション病棟認定看護師の活動内容は、「患者、家族に対する質の高い看護の提供」「個人、集団、組織に対するリスクマネジメント」「多職種との協働とチームアプローチの実践」が挙げられます。

リハビリテーション看護は、本来人が持っている力を導き出し、その人らしさを大切にしながら生活できるよう支援することです。多くの患者さまが病気や外傷によってこれまでの生活が変化することの不安を感じ入院されています。不安の大きさや解決方法は患者さま個々人で異なり、私たちは心身の回復過程に寄り添う看護師として高い専門性が必要となります。そのため、回復期リハ看護師として常に患者さまやご家族さまの声に耳を傾ける姿勢を心掛けています。スタッフ1人1人が患者さまの可能性を支援できるような働きかけを行えるよう、今後も活動していきたいと思っております。





## 熊本豪雨災害地にJRATチームを派遣しました

令和2年7月豪雨による被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

7月30日～8月1日の3日間、豪雨災害にあった人吉地域に日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)の一員として当院より2名のリハビリスタッフを派遣し、災害支援に参加してまいりました。

各地の避難所を回り、生活不活発病の予防として集団体操や足腰が不自由な方に対して生活環境のアドバイス等を行いました。新型コロナウイルスの感染対策をとりながらの支援で戸惑いもありましたが、支援した避難所の方々からは、「参加して気持ちよかった」、「次も来てほしい」など喜びの声をいただきました。長期化する避難生活で避難されている方々は、疲労や将来への不安もあるようでしたが、今後も当院としてできる限りの支援をしていきたいと思えます。

リハビリテーション部 部長 西村隆文

### 寺尾レポート

	R2.6	R2.7	R2.8
1日平均 外来数	121	134	134
新規入院	57	45	84
退院	46	45	70
通所リハ 利用者数	995	1003	954

(単位:人)

#### ○回復期リハビリテーション病棟

在宅復帰率:85.3% 平均単位数:6.3単位  
入院時の重症割合:45.5% 平均在院日数:76.8日  
重症改善割合:65.5%  
実績指数:48.

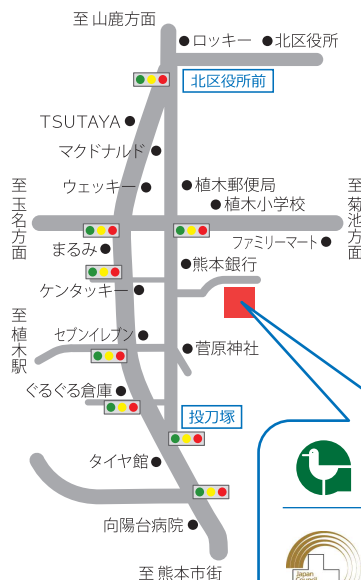
#### ○地域包括ケア病棟

在宅復帰率:78.9%  
平均在院日数:25.1日

1.○ 2.× 3.× 4.× 5.×  
6.○ 7.○ 8.○ 9.○ 10.○



### 交通アクセス



- ▶九州産交バス/熊本～山鹿線  
植木1丁目バス停より…徒歩約1分
- ▶JR九州/JR鹿児島本線  
植木駅下車……タクシーで約8分
- ▶自家用車/九州自動車道  
植木インターより…車で約10分  
水道町交差点より…車で約30分



医療法人 寺尾会 寺尾病院



〒861-5504 熊本市北区小系山町759  
TEL:096-272-0601 / FAX:096-273-2759  
URL <http://www.terao.or.jp/>